

- 全国各地で発生した土砂災害に関して、都道府県等からの要請により、土砂災害専門家を派遣し、警戒避難や応急・恒久対策の考え方等について技術的助言を実施。
- 令和5年度は台風第2号(6月)及び7月豪雨による災害への対応のため、土砂災害専門家として国土技術政策総合研究所・国土技術政策総合研究所大規模土砂災害対策技術センター・土木研究所の職員を現地に派遣。

きのかわし しもどもぶち  
**6月2日発生 和歌山県紀の川市下鞆瀬地すべり**

- 和歌山県からの要請
- 対応期間：6/8
- 対応職員：国総研（大規模土砂災害対策技術センター）1名
- 対応結果：  
現地にて被災状況を確認後、警戒避難体制等について技術的助言を実施。



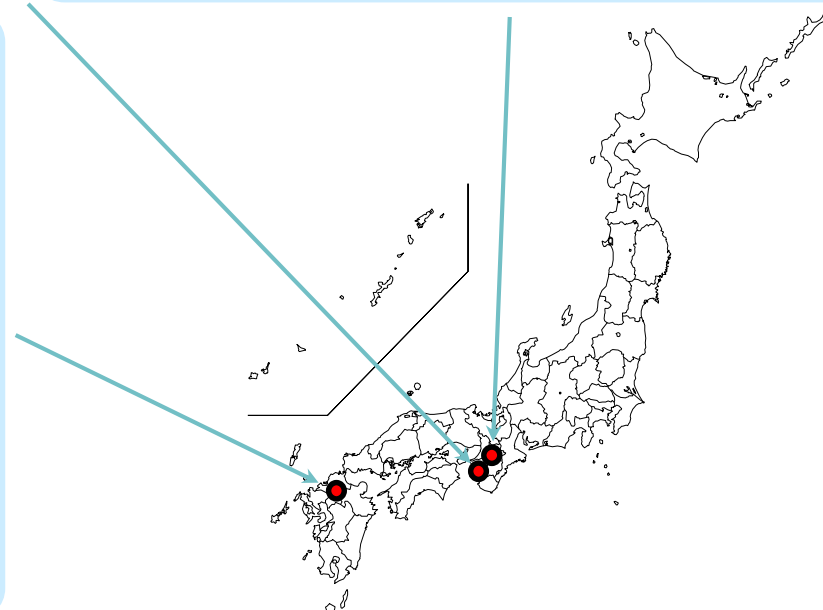
かしわらし こくぶひがんじょうちよう  
**6月2日発生 大阪府柏原市国分東条町法面崩落**

- 近畿地方整備局からの要請
- 派遣期間：6/3
- 派遣職員：国総研（大規模土砂災害対策技術センター）1名
- 派遣結果：  
現地にて被災状況を確認後、今後の対策等について技術的助言を実施。



くるめし たぬしまるまち  
**7月10日発生 福岡県久留米市田主丸町土石流**

- 福岡県からの要請
- 対応期間：7/13-14
- 対応職員：国総研2名、土研2名
- 対応結果：  
現地にて被災状況を確認後、今後の対策等について技術的助言を実施。



## 福岡県久留米市田主丸町竹野の土砂災害専門家派遣

- 福岡県からの要請にもとづき、国土技術政策総合研究所及び土木研究所の職員を土砂災害専門家（TEC-FORCE高度技術指導班）として現地に派遣。福岡県との合同現地調査後に、災害応急対策等の技術的助言を実施。

## ○現地調査状況



## 【土砂災害専門家】

- ・ 国土技術政策総合研究所  
砂防研究室 室長、主任研究官
- ・ 国立研究開発法人土木研究所  
土砂管理研究G上席研究員、交流研究員

合計4名

## ○福岡県砂防課への技術的助言



災害応急対策として、以下の項目の検討を助言。

- ・ 左岸崩壊地の詳細な調査が必要。その上で、必要に応じて、伸縮計の設置、ワイヤーセンサー等の設置
- ・ 下流流路工の開削
- ・ ワイヤーネット等の応急的な砂防施設の整備
- ・ 当面、千之尾川周辺の今回の大雨で崩壊が発生した流域においては、土砂災害警戒区域及び土砂が氾濫した範囲の住民に対し、警戒基準を引き下げた警戒避難体制の整備